



カタチ
あるモノも
カタチない
モノも



冷間圧造品とメッセージロゴ

○本社所在地：愛知県刈谷市半城土町

生出104番地12

○事業概要：主に自動車部品の製造

○常時使用する従業員：220名（2025年12月時点）

○現在の売上高：69億円（2025年8月期）

○法人番号：9180301013815

○Web：<https://www.katoseiko.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役 加藤 聰人

カタチあるモノも、カタチないコトも。

私たち加藤精工は冷間圧造や切削加工を行うモノづくりの会社.....それだけでいいのだろうか？

私たちは60年以上にわたり主に自動車部品の製造を通じて社会に貢献してきました。しかし社会が必要としている企業の姿は常に変わり続けています。環境、人権、働き方.....多様な課題があるこの社会の中、必要とされる会社でい続けるにはそのような課題に対して真剣に取り組み、そして成果を出すことで“社会の役にたつ”。私たちはそんな会社でい続けたいと思っています。「カタチあるモノも、カタチないコトも。」 加藤精工はこれからもあらゆる課題に向き合っていきます！

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年8月期の達成に向け、多様な素材での加工や樹脂成型等の新たな取組みを行い、年率105%の成長を目指す。



課題

- ・ 営業力の強化と新規顧客（分野）獲得
- ・ 顧客や製品群バランスの偏り
- ・ 新規設備などの投資の停滞
- ・ 既存設備の稼働率の低下
- ・ 資材等の価格高騰
- ・ 人件費の高騰と人材確保

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ M & A等による新規分野への投資と成長
- ・ AIやDX活用での生産性向上による付加価値額向上
- ・ アルミなどニーズのある新素材加工への投資と技術習得
- ・ 既存技術の追求と潜在顧客の発掘
- ・ 社員の個性を尊重し最大限に能力発揮できる環境づくり
- ・ 社会課題へ向き合い、地域や社会に必要な会社づくり

実施体制

- ・ M & Aで新規分野を取得し、グループ連携で既存とのシナジー（樹脂化等）による商品力、提案力の向上を図る
- ・ AIやDXの専門係を組織し、積極的な導入と効率化を図る
- ・ 営業人材の育成による素早い情報収集と提案を図る
- ・ 設計や生産技術の専門係による技術開発を図る
- ・ 働きやすい職場環境整備による働く安心感の醸成を図る
- ・ 社会課題解決への専門係を組織し、積極的な活動による社会貢献と信頼獲得を図る

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです